

【出水うづ子】
出水小学校に通う子どもたちのことを昔から「出水うづ子」と呼んでいます。将来、出水校区を背負ってほしいという願いが込められています。

【出水小学校の大エノキ】
出水小学校の第一校舎と第二校舎の間の中庭には、樹齢300年余りと伝わるエノキの樹がそびえ立っています。出水小学校のシンボルでもあります。

【バンド公園】
出入口の欄には、見る角度によって現れる全部で8匹のバンドの絵が描かれています。出水校区ではバンド公園と呼ばれ親しまれています。

【芝生公園】
水前寺成徳園内にあり、水前寺立体育館が以前、ここにはスポーツだけでなく、プロレス巡業やコンサート等の催しもたくさん行われていました。

【水前寺児童公園】
公園内には、無料開放されている湧き水プールがあります。場所の子どもたちが自宅から水着で向かう風景は、夏の風物詩のひとつです。

【ジェーンズ邸】
熊本県学校に外国人教師ジェーンズを迎えるために明治4年に建てられた熊本最初の洋館。建築主ジェーンズ氏日本初で男塾学校を築いたとされています。日本赤十字病院の地としても使われ昭和45年動物跡跡現在に移築復され歴史の重要文化財となっています。

【出水神社】
水前寺成徳園の中にある神社。明治11年建立で、毎年元旦には地域の住民や市内一円より多くの参拝者でにぎわいます。

【出水神社流鏑馬】
毎年、新緑御大祭の奉仕行事として古くから伝わっています。武者姿の射手が馬にまたがり、標的の盾に矢を放ちます。

【熊本市総合体育館青年会館の鳴龍】
青年会館談話ホールで手をたくと龍の鳴き声が聞こえてきます。天井にある絵は、日光東照宮にある鳴龍の下絵です。

【出水村役場】
明治22年国府村、今村、長瀬村が合併して熊形出水村となり、国府二丁目、現在の出水村役場が置かれました。その建物は今も現存しています。

【江津湖】
出水小学校の児童が遠足や校外学習で訪れる江津湖は、ひょうたん型をしています。水蓮水を100%天然地下水でまかなう「日本一」の地下水都市、熊本一のシンボルの一つです。

【熊本国府高校】
熊本女子商業高等学校には、一つの円形型の校舎があり、人目をひくモダンな造りでした。棟目は昭和31年、2棟目は昭和36年に完成し、その後、昭和56年に解体・移築されました。

【知事公舎】
水前寺2丁目にある知事公舎の敷地内では、夏休みに3町内の愛育会(子ども会)の子どもたちがラジオ体操をしています。

【水前寺スーレーン】
愛育会(子ども会)のイベント等によく使われる「水前寺スーレーン」は、昔ながらの手書きスコアのボウリング場です。

【託麻国府】
奈良時代、白山神社のあたりに国府(現在でいう県庁)の建物が残り、当時は200メートル四方に広がっていたと言われています。現在でも国府という地名が残っています。

【軽便鉄道】
明治40年ごろ、安政橋から水前寺大島屋前まで鉄道が走っていました。当時は燃料が石灰であったため黒煙を出していました。

【出水神社大鳥居】
水前寺の大鳥居は、細川園童公没後300年を記念して明治43年に建立されました。現在はパリスポットとなっています。

【国分寺】
奈良時代741年に、聖武天皇の命により全国に造られました。当時の肥前国では国府の東側に建立され、三重の塔、金堂、講堂、回廊、経蔵、鐘堂、僧房、食堂、僧庫が立ち並び、広さは、町(220m)四方であったと言われています。

【水前寺こいあかり】
平成26年2月に初めて開催された「水前寺こいあかり」では、たくさんの灯りで成徳園や参道周りが幻想的に彩られます。「こいあかりのついで」には、「恋」「壁」「来い」など様々な意味が込められています。

【水前寺もやし】
現在、上江津津湖にある芭蕉園内の湧き水だけで栽培されています。普通のものより4.5倍長さ35cmほどに成長し、長寿と健康を願う縁起物として、熊本では正月の雑煮にかかせません。

【水前寺公園】
東海道五十三次を模したとも言われる熊山式回遊庭園です。正面に見え、山の間は観音堂に浮かぶ富士のようであり、日の出とともに見るとまた格別です。

【椿公園】
国府一丁目緑地公園。地域の老若年が集まり、グラウンドゴルフを楽しんでいる他、出水校区にあるきよめ保育園の運動会も行われます。地域の方々に親しまれた緑の多い公園です。

【いきなり団子】
熊本名物のひとつです。名前の由来は、お客さんが食べたり来てもすぐふるまえることや食べたりいきなり学が出てくること等、諸説あります。水前寺が発祥の地とも言われています。

【出水ふれあい通り】
当初は、水前寺公園通称から通称「本エノキ」まで約700メートルにわたる通りでした。ふれあい通りのイメージキャラクターは出水之介といます。

【お地蔵様】
子どもたちの守り神であるお地蔵様の縁日の8月24日に、愛育会(子ども会)が中心となり、地蔵祭りを開催しています。

【校区大運動会】
出水校区では2年に1回、校区大運動会と銘打って、町内対抗の運動会を開催しています。校区の重要なイベントのひとつです。

【朝ボラ】
出水小学校では、6年生が自主的にあいさつ運動や美化活動等を行って、います。その爽やかな姿は朝の風物詩となっています。

【ふれあいお手紙大作戦】
敬老の日になんで、出水小学校の児童が、地域の高齢者一人ひとりのお宅にお手紙を届ける取り組みで、地域との関わりを深める機会となっています。

【わんぱく広場】
主任児童委員や民生児童委員が運営主役の、地域の高齢者一人ひとりのお宅にお手紙を届ける取り組みで、地域との関わりを深める機会となっています。

【漢器堀川】
鳥渡橋付近では、以前は洗濯を行っていたことによりせんたく川とも呼ばれ、今では難が深く清らかな水です。毎年8月1日には水神祭りが行われています。

【文学の散歩道】
江津湖湖畔に生まれた女流俳人、中村汀女の句碑とともなれば、あたりにふゆる、蜻蛉かな「等」江津湖湖畔には、たくさんの句碑が建てられているため、「文学の散歩道」と呼ばれています。

【出水中学校】
「純朴の質實、好学の美風、遠大の理想」の校訓のもと生徒たちは何事にも粘り強く取り組んでいます。文化部、運動部ともに、部活動が盛んです。

【校区ふれあい学ぼう災】
年に1回、防災訓練として11月頃に「本エノキ」まで、爆竹の音とともに、町内毎に集合し、出水小学校校庭に避難します。地域の方が楽しめる防災イベントも行われます。

【後藤是山記念館】
後藤是山は、九州日日新聞(現在、熊本日日新聞)の記者でした。娘さんから市に寄贈された後藤是山邸は、現在、記念館として3町内にあります。

【出水小学校】
明治8年創立の歴史と伝統ある小学校です。平成26年に開校140周年を迎えました。校訓は「勤勉(勤しむ)子・明眼(明るい)子・健康(健やか)な子」です。

【古今伝授の間】
細川園童が慶長5年(1600年)関ヶ原合戦の際中に、後陽成天皇の弟、桂宮(智仁親王)に古今和歌集の奥義を伝授したといわれる建物が、大正元年に京都から現在地に移築されました。

【水前寺駅・新水前寺駅】
JR豊肥本線の水前寺駅と熊本水前寺駅との間は約60メートルの距離なので、互いのホームを見ることもできます。

【エノキング】
出水小学校の挨拶運動等に登場するキャラクター、着ぐるみは上級生が段ボールで手作りしています。下級生が集まってきて触ったりハイタッチしたりと、ポロポロになるほど人気です。

【熊野座神社】
イザナギノカミ、他三神と菅原道真が祀られています。また、国分寺七重の塔の心礎の石があり、その一部を今でも見ることが出来ます。

【子ども見守り隊】
防災活動の一環として、地域の防犯ボランティアが、出水小学校の児童の登下校の際に見守り活動を行っています。

【出水神社の祈籠】
全国で5番目に古い祈籠神事が、水前寺成徳園内の能楽殿で、毎年8月の第1土曜日に、行われています。

【戸井の外公園】
毎年、8月24日に、地蔵祭りが行われます。やぐらが立ち、校区の方が集まり、小学校の運動会で踊る出水音頭などを踊ります。

【からし蓮根・玄宅寺】
南隣だった細川忠利公のために、玄宅和蘭がからし蓮根を考案したと言われています。輪切りにした似り口が細川家の家紋(九曜紋)に似ていることから、長らく門外不出とされました。

【地蔵祭り】
通称「バンド公園」には、お地蔵様が祀ってあります。毎年、地蔵祭りでは、町内の子ども達が、お地蔵様を引いて回り、夏休みの楽しい思い出になっています。